

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1

当初

事 項	災害時保健福祉支援体制強化事業費										予算主管課		保健福祉課		
事 業 概 要	大規模災害に備え、保健・福祉的支援体制を強化するとともに、福祉避難所の開設に必要な訓練の実施や物資の配備を支援する。										始期		H29年度		
											終期		R8年度		
K P I	災害時要配慮者支援チームの登録数														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	時点・期間	2023/2/1		時点・期間	R5年度		時点・期間	R6年度		時点・期間	R7年度		時点・期間	R8年度	
	現状値	197 人		目標値	236 人		目標値	268 人		目標値	300 人		目標値	300 人	
				実績値	218 人		実績値	人		実績値	人		実績値	人	
				達成率	92.37 %		達成率	%		達成率	%		達成率	%	
コ ス ト			最終現計予算額	16,785 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		
			決算額	7,866 千円		決算額	千円		決算額	千円		決算額	千円		
5 年 度	要因分析		評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 年間を通じて、登録者研修やチーム員養成基礎研修などを実施して増員に努めたほか、能登半島地震に係るチーム派遣を契機に新規登録者が増加したが、更新調査により10名がチームを離れて減員になったこともあり、目標達成には至らなかった。 総括（事業最終年度の場合、要記入。）												
			見直し方向性		維持		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績は目標値に届かなかったものの、6年度は各種研修の機会を増やすとともに、石川県での活動報告等の機会を通じて周知・啓発を強化する予定であり、KPI目標を達成できていることから、7年度予算においても取組みを維持する。								

2

当初

事 項	D P A T体制整備事業費										予算主管課		健康増進課		
事 業 概 要	自然災害等において、迅速に災害時の精神医療活動を支援するとともに、被災地域の一般住民や支援者を対象に、専門的な心のケアに関する対応を円滑に行うため、DPATを整備する。										始期		H25		
											終期		R8		
K P I	愛媛県D P A Tチーム数														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	時点・期間	R3年度		時点・期間	R5年度		時点・期間	R6年度		時点・期間	R7年度		時点・期間	R8年度	
	現状値	6 チーム		目標値	6 チーム		目標値	7 チーム		目標値	9 チーム		目標値	11 チーム	
				実績値	6 チーム		実績値	チーム		実績値	チーム		実績値	チーム	
				達成率	100.00 %		達成率	%		達成率	%		達成率	%	
コ ス ト			最終現計予算額	6,447 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		
			決算額	3,828 千円		決算額	千円		決算額	千円		決算額	千円		
5 年 度	要因分析		評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。実績値が目標達成しなかった要因を外的要因も含め具体的にデータ等を用いながら様々な視点を踏まえて記入。） 総括（事業最終年度の場合、要記入。）												
			見直し方向性		維持		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、6年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。								

3

当初	事 項	災害医療対策事業費										予算主管課		医療対策課		
	事 業 概 要	発生が危惧される南海トラフ巨大地震をはじめ、県内外で発生する自然災害等へ迅速に対応するため、DMATの活動支援や、災害拠点病院等医療機関の医療救護体制の強化に向けた取り組みに係る経費を補助する。										始期		H21		
												終期				
	K P I	DMAT数														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		時点・期間	R5.1		時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度				
		現状値	26	チーム	目標値	29	チーム	目標値	32	チーム	目標値	35	チーム	目標値	36	チーム
					実績値	27	チーム	実績値		チーム	実績値		チーム	実績値		チーム
					達成率	93.10	%	達成率		%	達成率		%	達成率		%
					最終現計予算額	28,103	千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額		千円
コ ス ト			決算額	6,297	千円	決算額		千円	決算額		千円	決算額		千円		
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 各圏域における地域災害医療対策会議の開催による地域での関係機関の情報共有や、災害医療研修の実施（24名が参加）等により医療救護体制の強化は図っているものの、DMAT隊員認定に必要な日本DMAT研修もしくは都道府県DMAT研修+広域災害対応研修のカリキュラム受講について、受講枠に限りがあることから、DMATチームの養成数の伸びが鈍化した。														
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）														
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 災害時の医療救護活動従事者を養成するためには、平時における研修や訓練、あるいは地域での関係機関同士の情報共有により、活動体制の充実・強化を図るとともに、専門的訓練を受けたDMAT隊員の養成のためにDMAT隊員認定の機会を増やすことが非常に重要であり、受講枠を確保するためにも、都道府県DMAT研修の継続が必要と考える。													